

☆☆GLAFX—すぐ目の前の売買チャンス☆☆

*Excellent trade opportunities are just around the corner.*

★メルマガの使い方

メルマガ内で推奨する売買について、Q&A 方式で解説します。

—————Q&A—————

Q1: どの通貨ペアを推奨するのですか。

A: 私が長年トレードしてきた USD, EUR, GBP, JPY, AUD といった通貨の中から、これはと思う通貨ペアを選んで推奨します。好機とみれば、NZD, CAD, CHF も推奨対象にしますが、TRY や ZAR といった、よく話題になる新興国通貨などは、扱いません。

Q2: どのタイミングで推奨するのですか。

A: 欧米市場での有益な売買を狙って、原則として月曜日から金曜日まで、毎日 16 時前後に推奨メールを配信します。推奨の配信に加え、前日の売買の検証を午前中に 1 回、20 時前後に本編修正や変更の必要がある時にかぎり、臨時配信をしたいと考えています。

Q3: メインとするトレードはデイトレードですか。

A: はい。欧州時間に参入して、NY 市場クローズまでの収益を狙うデイトレードが基本です。値動き次第では翌日のアジア市場までの売買になることもありますが、GLAFX のデイトレは東京 15 時には必ず手仕舞いして、夕方からの新しいトレードに備えます。

Q4: エントリーをレートでなく 20pips 幅のゾーンにしているのは、なぜですか。

A: 私が決める売買レベルは、私が 1 時間足以上の上位足のチャートで引く、サポートとレジスタンスラインが、主な売買根拠のひとつになっています。そうしたレジサポライン上の重要ポイントは、AI などによるシステムトレードを含む、多くの市場参加者によって、注目されているポイントでもあるはずですが、ラインの引き方の技術的な差や、情報ソースの高値安値の微妙な違い、あるいは突発的なノイズによって、ライン上ではっきり反応せず、その周辺で反応することが多くあります。そういったギャップによって、少しの差でエントリーができなかったり、売買の指値に迷いが生じたりするのを防ぐために、売買推奨レートではなく、推奨ゾーンで表現することにいたしました。

Q5: 20pips 幅の売買ゾーンでの、エントリーのしかたを詳しく教えてください。

A: 推奨する売買ゾーンでは、まずそのゾーンで売買する全体のロット数を各自で決めていただきます。そしてそれを2分割してもらい、売りゾーンであれば、その最下限のレートで、まず1/2ロットを売り指値します。次にまた1/2ロットを10pips上、すなわちゾーンの中央値に売り指値します。例えば、ドル円で売りゾーンが110.30-50であれば、1/2ロットずつ110.30と110.40に売りを置くことになります。買いゾーンの場合は、その売りゾーンの反対で、ゾーン上限から1/2ロットずつ、上のドル円の例でいくと、110.50と110.40に、買い下がって指値を入れていくことになります。

下記の取り消し線が引かれているAは、従来採用していた3分割によるエントリー方法で、2021年11月15日より休止中です。あくまでもGLAFXのメルマガ上の基本的な使い方を2分割法に変更したために休止しているだけで、3分割のエントリーそのものが否定されたわけではありません。売買ゾーン内であるなら、2分割3分割にかかわらず、ご自身の裁量で自由にエントリーして良いというのが、本来のGLAFXの考え方です。

Q6: ゾーン内で売買が成立し、相場がアゲインストにいった場合、損切りはどのようにおこないますか。

A: 損切りのオーダーは、常にゾーン中央値の30pips後ろのレートに置いてください。

Q5のドル円の例でいえば、売りゾーンの場合なら中央値である110.40の30pips上の110.70、買いゾーンなら110.40の30pips下の110.10がロスカットオーダーを置くレートになります。損切りは必ずおこなってください。損切りしても、またチャンスはいくらでもきます。さっぱり損切りして次の推奨に備えてください。そのためにも、あらかじめ各自が設定する総ロット数は、損失に耐えられ、再起を図れる無理のない額で設定してください。

Q7: 利食いの場合はどうしますか。

A: 利益確定は損切りとちがいで、自由におこなっていただいて結構です。ただ、GLAFXでは中央値から50pipsの利益で手仕舞いとします。部分利確を利用して、一部は20から30pipsで利確して、あとは50pipsで利確したり、もっと伸びそうならさらなる分割利確で、50pips以上を放置してみたりすることも可能です。また、もみ合いができて、20pipsで利確して、再び相場がゾーンに戻ってきた場合に、そこで売り直しや買い直しをしてもらうなど、裁量で自由にアレンジしていただいても結構です。

Q8: 推奨売買の勝率はどれぐらいを見込んでいますか。

A: 勝率は思うほど高くないかも知れません。上下30pipsで利確と損切りと決めて、機械的にトレードをした場合、長くやれば勝率は誰がやっても5割ぐらいになります。損切りを30pips、利確を50pipsに設定するなら、勝率は5割以下になるかも知れません。私が

現役銀行ディーラーだった時でも、勝率は6割を少し超えたぐらいだったと記憶しています。基本的に銀行ディーラー時代は、常にトレードしていなければなりません。勝率が3割を下回ると、さすがにマイナスになる月が多かったと思いますが、3割から4割程度の勝率でも、しっかり収益を残した月もたくさんありました。勝率の高さを意識してトレードすると、おのずと売買チャンスは減っていきます。

慎重になって、売買に多くのエントリー根拠を求めるようになるからです。私はトレードにおいて、勝率はさほど気にしていません。利益が得られると思うマーケットに、積極的にできるだけたくさん入っていき、多少損失が続くトレードが続いても、あきらめず、ねばり強くそのやり方を継続してことが、長くトレードで生き残っていくには重要なことだと考えています。損失が続いた時、過去検証は重要です。検証して、そのやり方を続けていっても良いという結論に達したなら、あとは淡々とそれを継続するだけです。

話を戻して、この推奨売買の勝率ですが、ある程度の根拠を持って推奨するトレードなので、勝率は5割から6割の間ぐらいと考えます。利益が50pips以上の可能性があり、損切りが30pipsで勝率が5割あるなら、私は喜んでそのトレードを続けます。

Q9: 1回の配信による推奨はいくつぐらいですか。そして実際にエントリーできるものは、はどれくらいの数になりますか。

A: マーケットのコンディションにもよりますが、その日実際にエントリーできる可能性の高いものを、3~5例紹介できればと思っています。どうしても推奨できるものが見当たらない日もあるかも知れませんが、監視通貨ペアを増やしてみるなどして、なるべく推奨できるよう努力します。今日はまだ無理かもしれないけど、というような推奨ならたくさんできます。でも絵に描いた餅は、食べられません。今日獲物を得る努力をしたいのです。これがトレードで生計を立てている私自身のトレードと、皆さんへの推奨に対する私の姿勢です。実際には私は推奨以上にたくさんの小刻みなトレードをします。このデイトレードというより、スキャルピングに近いトレードを、メルマガで配信することは不可能です。ただ、こうしたトレードも、配信される推奨も、同じシナリオに基づいています。皆さんも時には、私の推奨とそれを支えるシナリオが、腑に落ちることがあると思います。その時は、そのシナリオを展開させて、より自分に合ったトレードを組み立ててみてください。私もできるだけ毎日、質の高い安定した推奨ができるよう、努力してまいります。

Q10: 本編の配信を見た時、すでに実勢レートがゾーンの中央値に達していることがありました。途中からエントリーしても構わないですか。また慣れてきたので、自分でゾーンの中央値だけエントリーするとか。ゾーン両端だけエントリーしたりする自己アレンジをしてはいけないのでしょうか。

A: ゾーン内で、途中からエントリーしても構いません。また慣れてきたらゾーン内であれば、ロットを工夫しながら自由にどこでエントリーしてもらってもいいです。ただし中央

値から 30pips の損切りというルールだけは必ず守ってください。